



大雨・台風・地震がやってくる前に… 今こそ見直す防災対策



毎年のように発生する大雨・台風による被害。そして、姉妹都市「石川県能登町」を襲った大地震。災害に対する関心が高まっている今こそ、家族で、地域で、防災対策を見直してみませんか？

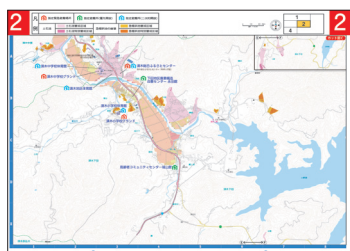
●問＝危機管理課 Tel 23 - 1175



✓ まずは総合防災マップをチェック

小林市総合防災マップには、避難所の場所や土砂災害・急傾斜地の警戒区域が表示された地図だけでなく、防災対策や備蓄品のチェックリスト、災害時の注意点などさまざまな情報がまとめられています。防災対策を考えるうえで、ぜひ内容を確認してください。

防災マップは危機管理課で配布しているほか、市ホームページ（右QRコード）からも確認できます。



令和5年8月、台風6号の影響で小林市にも「線状降水帯」が発生し、河川が氾濫、一部地域では床上浸水が発生するなど、大きな爪痕を残しました。

また、今年1月1日には、能登半島でマグニチュード7.6の地震が発生。現在も被災地では、懸命な復旧・復興作業が続いています。

さらに、4月17日の豊後水道を震源とする地震では、愛媛・高知両県で最大震度

6弱、西諸地域でも震度4（小林市は震度3）を観測するなど、大きな地震も続いています。

これから梅雨・台風のシーズンを迎えます。集中豪雨や台風、地震など、私たちの暮らしを脅かす自然災害。

今回の特集を通じて、家族で、地域で、事前にどう災害に備え、実際に発生したときにどう行動するのか話し合ってみましょう。

災害時の情報収集は、 メール・LINE・ラジオで

小林市メール配信サービス

大雨や台風の時季に防災情報を素早く手に入れることができます。

右 QR コードを読み取って空メールを送付し、届いたメールの URL をクリック。利用規約を確認後、配信を希望する情報などを選択して登録完了です。



市公式LINE

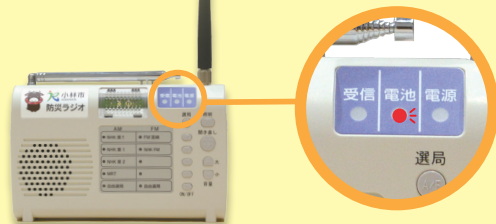


市公式 LINE でも防災・防犯情報を受信できます。左の QR コードを読み取って友だち登録し、画面下に表示される基本メニューの受信設定を選択。欲しい情報から「防災情報」を選択して完了です。

防災ラジオ

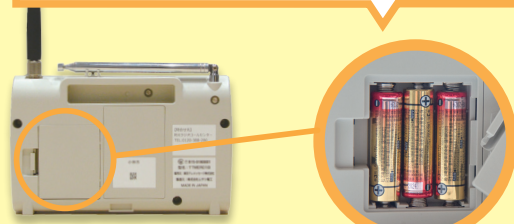
各世帯に1台ずつ、無償で配布（貸与）しています。配布を希望する人は、危機管理課までお越しください。

停電のときには電池で動きますので、事前に電池の状態を確認ください。



単3電池が3本必要です！

非常時持ち出し品の中に予備の電池を準備しておきましょう。ラジオに電池を入れたままにしておくと、液だれにより故障の原因になります。定期的に交換しましょう。



知っていますか？警戒レベル

ある程度予測ができる台風などの風水害は、早めの避難行動が大切です。空振りに終わっても「なにもなくてよかった」と考え、早めの避難をお願いします。

命 守 つ て	レベル 5 緊急安全確保	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。ただちに安全を確保。
	レベル 4 避難指示	“危険な場所” から全員避難。
	レベル 3 高齢者等避難	高齢者や障がいのある人は避難。それ以外の人も危険を感じたら自主避難。
避 難 し て	レベル 2 大雨・洪水・高潮注意報（気象庁が発表）	
	レベル 1 早期注意情報（気象庁が発表）	
逃 げ る 準 備		



どのように情報収集しますか？

市は、メール配信サービス・市公式 LINE・防災ラジオで気象情報の変化や避難所開設の情報などを随時流しています。

台風6号での「緊急安全確保」の発令では、夜間であり雨が激しいため、避難所などへ向かうことはかえって危険と判断し、在宅での安全確保をお願いしました。



21時40分
市内全域に**緊急安全確保（レベル5）**を発令（初）
本庄川が氾濫注意水位3.5mに到達

8月10日

5時02分

大雨警報（土砂災害）へ移行、洪水警報解除

6時00分

緊急安全確保（レベル5）を解除
高齢者等避難へ移行

18時35分

土砂災害警戒情報解除、高齢者等避難解除

20時00分

最後の避難所を閉鎖

8月11日

4時29分

大雨警報（土砂災害）解除



真方川の越水でアスファルトがはがれた道路



事前に家族で話し合っていますか？

「避難するときに何を持っていく？」、「避難場所はどこ？」、「家族の職場や親戚の緊急連絡先は？」…。大雨や台風に限らず、いざというときにどうすればいいか、家族で決まり事を作ったり話し合っておくことが、家族を守ることに繋がります。

8月8日

13時07分

大雨警報（土砂災害）が発令

15時00分

高齢者等避難（レベル3）を発令

避難所13力所を開設

21時50分

紙屋地区を中心に土砂災害警戒情報が発令

8月9日

2時50分

大雨警報（土砂災害、浸水害）が発令

20時00分

1時間雨量59mmを観測

20時27分

洪水警報が発令

21時00分

宮崎県の南部山沿いに線状降水帯が発生

真方川越水

1時間雨量観測史上最大93.5mmを観測

岩瀬川が氾濫危険水位5.7mに到達



一時3,210戸が停電 停電・断水に備えていますか？

台風6号では市内で多数の停電が発生し、浄水場の電源喪失により一時断水する地域もありました。

停電に備えて懐中電灯や予備の電池などを準備し、湯船などに生活用水を貯めておきましょう。



停電が起きたら…

事前に分電盤の位置を確認しましょう。通常、分電盤は玄関・台所・脱衣所・廊下の上部に設置されています。停電情報の確認には、九州電力送配電株式会社のサービスを活用ください。なお、市役所では復旧の見込みなどについて回答はできません。

停電状況の問い合わせ先

■停電情報自動応答サービス
居住エリアの停電状況を自動音声で案内します（24時間対応）

☎ 0120-426-306

■停電情報提供アプリ

停電・復旧見込み情報をアプリから確認できます（利用料無料）



iPhone 用
Android 用



大雨・台風に備える

令和5年8月の台風6号では、「線状降水帯」発生に伴い観測史上最大となる1時間に93.5mmという猛烈な雨が降り、大きな被害が発生しました。左は、台風6号による警報などの発令を時系列順に表したものです。状況は刻一刻と変化します。次に同じような状況が発生したとき、あなたはどのよう行動しますか？

！最低3日分は準備！

非常時に備えて備蓄しておきたいもの（例）

大災害では外部からの支援が届くまで時間がかかります。もしもに備えて最低3日間（できれば1週間）生活できるように備蓄しましょう。

食料の備蓄は、災害用保存食の備蓄だけでなく、日常使っている飲食物を少し多めに購入し、定期的に食べて（1カ月に1・2度）、食べた分を買い足して備蓄する「ローリングストック法」がおすすめです。

☑ 飲料水

☑ 非常食品

お米（缶詰、レトルト、アルファ化米）、缶詰・レトルト食品、梅干し・調味料、フリーズドライ・チョコレート・アメ（菓子類など）

☑ 燃料

固形燃料、ガスボンベ、卓上コンロ

☑ 工具類

スコップ、バール、ノコギリ、ジャッキ、ロープ、ペンチ

☑ その他

皿・コップ・はし、調理器具（なべ・やかんなど）、簡易トイレ、毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプー（断水時でも使える）、バケツ・各種アウトドア用品（ランタン・タープ）、ラップ・アルミホイル・キッチンペーパー、缶切りなど、ろうそく・新聞紙・段ボール・ガムテープ・着火ライター・マッチなど

非常時に持ち出せるようにしたいもの（例）

非常持出品は備蓄の一部と考え、備蓄品の中から避難生活に必要なものをリュックサック1つにまとめましょう。

乳幼児や要介護者がいる場合など、家庭状況に応じて必需品が変わることに注意が必要です。

☑ 貴重品

現金（千円札や公衆電話で使える10円玉も）、印鑑、預金通帳・マイナンバーカード・健康保険証・運転免許証などのコピー、カード類（コピー）、車や自宅の予備の鍵

☑ 避難グッズ

懐中電灯・ヘッドライト（一人にひとつ）、ヘルメット

☑ 救急医療品・衛生用品

救急用品グッズ（ばんそうこう・消毒薬・かぜ薬・胃腸薬・ガーゼ・包帯など）、持病薬、簡易トイレ、ティッシュペーパー・トイレットペーパー、ウェットティッシュ、ペーパー歯磨き

☑ 非常食品など

飲料水、紙皿・紙コップ、非常食（そのまま食べられるものや缶詰）

☑ その他

携帯電話やスマートフォンの充電器・モバイルバッテリー、衣類（上着・下着など）防犯ブザー、メガネ・予備のコンタクトレンズ、その他家庭の状況に応じたもの（乳幼児がいる場合、粉ミルクや哺乳瓶、離乳食、紙おむつ、おしりふき、母子手帳、おもちゃなど）



最初に少し多めに購入
使った分を買い足す

飲料水は1人1日3ℓが目安！

※2人なら、3日間で2ℓのペットボトル9本

好きなものや 食べ慣れたものも備蓄しておく

災害時にはストレスなどから食欲がなくなることも。そんなとき好きなものや食べたい物を食べると精神的にもプラスになります。好きなものや食べ慣れたものも備蓄しておきましょう。

トイレ対策を万全に！

停電や断水で水洗トイレが使えない場合、トイレを我慢することで健康被害につながることも。飲料水とは別にトイレを流したりする生活用水をポリタンクに確保したり、市販の簡易トイレを準備しておくことで安心です。トイレットペーパーやウェットティッシュも忘れずに！

地域防災のリーダー「防災士」を養成

防災士養成研修(基礎コース)

日 程 7月21日（日曜） 9時30分～17時（9時受付）

場 所 えびの市文化センター2階（大研修室）

対 象（全て満たす人）

県内在住・在勤／全ての講座に出席できる／研修の目的を理解できる／日頃から防災に関わっている、または地域の防災活動に貢献する意志・意欲がある

受講料 無料

※資格取得には受験料3千円、認証登録料5千円が必要

申込方法 F A X、電子メール、郵送（申込書ダウンロードや詳細は県ホームページを確認ください）

申込締切 7月11日（木曜）

申・問 宮崎県防災士ネットワーク

〒880-0805 宮崎市橘通東3丁目1番11号

TEL：0985-55-0447 FAX：0985-55-0467

MAIL：kenbousaishi-nw@cronos.ocn.ne.jp



事前に蓄える

大雨・台風・地震に共通する備えとして、食料や水の備蓄、非常時持出品を準備しておきましょう。また、日頃から防災に関する知識を蓄えておくことも大切です。

check ✓

事前にできる地震への備えの例

☑ 家具が転倒しないように家具は壁や天井に固定

L字金具や支え棒で壁や天井に固定するなど、転倒防止策を万全に。食器棚などの開き扉は、開かないよう止め金具をつける。



☑ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。難しい場合は、少しでも安全なスペースができるように配置換えを。

☑ 出入口や通路にものを置かない

出入口までの通路に倒れやすいものを置かないようにしましょう。玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに出入口をふさいでしまうことも。

☑ 寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かない

☑ 手の届くところに懐中電灯やスリッパなどを準備

☑ 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る

地震対策に補助金が出ます 管財課 ☎ 23-0222

木造住宅の耐震診断・耐震改修

対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅（戸建て、長屋及び共同住宅）

補助金額 耐震診断：診断費用へ最大13万円補助

耐震改修工事：工事費用の80％（最大100万円補助）

その他 予算に限りがあるため先着順となります。

申請前に診断・改修工事に着手したものは対象外です。

危険ブロック塀除却

補助対象 道路面から高さ80センチ以上で健全性が確保されていないと市が確認したもので、次のいずれか

①地域防災計画に位置づけた避難路沿道にある

②小学校からおおむね半径500メートルの範囲内にある

補助額 ①～③のいずれか少ない額の3分の2以内

①見積額、②同一敷地につき35万6千円、③除却費（延長1メートルあたり1万2千円）＋建替設置費（延長1メートルあたり1万5千円）の合計

その他 予算に限りがあるため先着順となります。

申請前に診断・改修工事に着手したものは対象外です。

隣近所とのコミュニケーションをしっかりとって、互いのことをある程度知っている関係になることで、「助ける力」だけでなく「助けられる力」を高めることにもつながります。

地域で自主防災組織が訓練するときには、ぜひ積極的に参加してください。防災行動力を高めるのはもちろん、防災訓練は地域の人が顔を合わせる場にもなります。

市内では54の自主防災組織が立ち上がっています。大地震が小林市の直下で起こらないとも限りません。「今まで起きたことではない」で終わるのではなく、「今まで起きなかったけど、もし起きたら」と、人任せにせず自分たち自身で考え、行動するのが自主防災組織です。



地震に備える

大雨や台風と違い、事前に予測することが難しい地震。日頃からの備えが大切です。

大きな被害が予想される南海トラフ地震

今後30年以内に70～80％の確率で起こるとされている「南海トラフ地震」では、市内の大部分で震度6弱の揺れが想定されています。建物被害は全壊・半壊あわせて2500棟、上下水道や道路などへの被害、停電などが発生し、被災1週間後には4千人以上の避難者が発生すると想定されています。

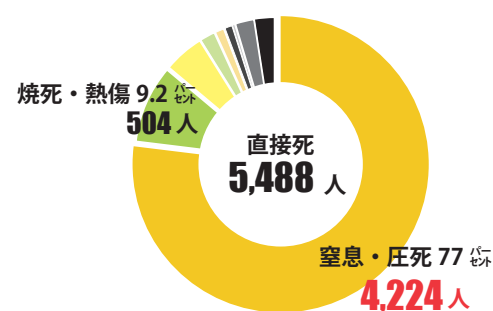
耐震化・家具の固定で命を守る

平成7年の「阪神・淡路大震災」では、地震による直接死は約5500人、うち7割以上が「家屋の倒壊

や家具などの転倒による窒息・圧死」となっています。大地震では、昭和56年以前の古い耐震基準のときに建てられた住宅は倒壊する危険性が高くなります。

また、タンスや食器棚、窓ガラスや天井から吊るす照明器具、テレビ、電子レンジ・オーブンなど、家の中には凶器となり得るものがたくさんあります。地震が発生したとき、それぞれの部屋にどんな危険があるのかを考えて、対策を立てることが大切です。

阪神・淡路大震災による死因



厚生省大臣官房統計情報部『人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況』（1995）から作成

地震による揺れから命を守るための「家屋の耐震化」や「家具の固定・転倒防止」に、できることから取り組みましょう。

Interview

自主防災組織の避難訓練に積極的な参加を

市内では54の自主防災組織が立ち上がっています。大地震が小林市の直下で起こらないとも限りません。「今まで起きたことではない」で終わるのではなく、「今まで起きなかったけど、もし起きたら」と、人任せにせず自分たち自身で考え、行動するのが自主防災組織です。



災害ボランティアコーディネーター かわの たかし 川野 隆志 さん 6